

<様式1> 管理運営状況評価書

は選択入力項目

は自動計算のため入力不要

【対象年度:令和元年度】

(⑤その他の施設)

I 施設概要・利用情報

(単位:人、%、円、日)

施設名	森林果樹公園		担当課名	維持管理課	記入者職氏名	主任 藤原一成
区分	内容・説明					
1 施設及び指定管理者の状況	(1)設置条例名	掛川市都市公園条例及び掛川市都市公園条例施行規則				
	(2)施設設置目的	小笠山の美しい自然景観を守るとともに果樹の観賞及び管理方法について学べる観光・体験型の公園づくりを進め、五感で楽しむ生涯学習公園を市民に提供することで公共の福祉に資することが本施設の設置目的である。				
	(3)施設が有する設備、機能の概要	全体面積11.9ha 40種類 1,200本の果樹 多目的広場 芝生広場 管理棟 直売所 野鳥観察小屋 展望台 園路 駐車場				
	(4)施設建設年度	平成6年2月1日(供用開始日)				
	(5)耐震性能の有無	あり				
	(6)将来予想される改修経費 (想定年度と費用見込み)	パーゴラ修理又は更新工事(R3)				
		直売所更新工事(R4)				
	(7)指定管理者名	遠鉄アシスト株式会社				
	(8)指定期間	平成30年 4月 1日 から 令和 3年 3月31日 まで				
	(9)債務負担行為設定の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 設定あり <input type="checkbox"/> 設定なし		※設定ありの場合、(期間 平成 30年度～令和 2年度)(限度額 41,360 千円)		
	(10)施設の管理運営形態	①指定管理料のみによる運営				
	(11)自主事業の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 実施あり <input type="checkbox"/> 実施なし		※実施ありの場合は、収支状況をⅢ-(3)欄に記入のこと。		
(12)その他事業の有無	<input type="checkbox"/> 実施あり <input checked="" type="checkbox"/> 実施なし		※実施ありの場合は、収支状況をⅢ-(3)欄に記入のこと。			
(13)事業報告書提出の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 提出あり(地自法第244条の2第7項による提出義務) <input type="checkbox"/> 提出なし					
(14)利用者満足度調査等実施の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 実施あり <input type="checkbox"/> 実施なし		※実施ありの場合、(直近の実施年度 令和 元年度)			

区分		H29実績	H30実績	R01実績	R02当初	備考		
2 利用状況	(1)施設利用者数	(目標値)	10,000	18,000	18,000	30,000	※協定書に記載した要求水準値を記入してください。	
		(実績値)	17,610	32,414	30,492			
	内訳 (施設・設備ごと)		17,610	32,414	30,492			
	(2)稼働率(利用率)						↓備考欄に算定式を記入してください↓	
	(施設・設備ごと)	(定員 人)	A平日昼間					
			B平日夜間					
			C土日祝昼間					
			D土日祝夜間					
		(定員 人)	A平日昼間					
			B平日夜間					
			C土日祝昼間					
			D土日祝夜間					
(定員 人)		A平日昼間						
		B平日夜間						
		C土日祝昼間						
		D土日祝夜間						

2 利用状況	(施設・設備ごと)	(定員 人)	A平日昼間					
			B平日夜間					
			C土日祝昼間					
			D土日祝夜間					
		(定員 人)	A平日昼間					
			B平日夜間					
			C土日祝昼間					
			D土日祝夜間					
		(定員 人)	A平日昼間					
			B平日夜間					
			C土日祝昼間					
			D土日祝夜間					
区分		H29実績	H30実績	R01実績	R02当初	備考		
3 管理・運営状況	(1)指定管理者名	公益財団法人掛川市シルバー人材				※1-(7) 現在の指定管理者と異なる年度のみ記入		
	(2)利用者一人当たりの運営経費	613	181	232				
	(3)運営日数	308	308	308	308			
	(4)運営人員	①正規職員	0.0	1.0	1.0	1.0	※指定管理者の組織構成員全体の人数ではなく、当該指定管理施設で働いている実人数を記入してください。	
		②臨時職員	10.0	2.0	3.0	3.0		

II 施設管理に係るコスト情報

(単位:円、%)

区分		H29決算額	H30決算額	R01決算額	R02当初予算額	備考
	①人件費	9,570,751	3,201,170	5,417,696	6,463,510	
	②印刷費	0	0	116,600	0	
	③通信費	119,502	134,867	201,722	134,867	

(1)運営コスト(A)	④事務用品、旅費、図書費など	587,355	902,002	196,641	100,000	
	⑤借上料	256,756	144,104	205,203	144,104	
	⑥保険料、消費税(租税公課)等	237,000	343,560	494,369	730,307	
	⑦その他(支払手数料、広告宣伝費、一般管理費、雑費)	18,243	1,142,747	451,830	321,410	
	計	10,789,607	5,868,450	7,084,061	7,894,198	
	対前年度増減率		△ 45.6	20.7	11.4	
区分		H29決算額	H30決算額	R01決算額	R02当初予算額	備考
(2)施設コスト(B)	①管理委託費(外注費)	170,804	6,393,847	5,420,133	4,487,802	
	浄化槽保守点検委託料	85,402	85,402	86,613	85,402	
	その他委託料	85,402	6,308,445	5,333,520	4,402,400	
	②修繕費	1,532,255	314,656	41,903	250,000	
	③光熱水費	254,187	173,313	184,804	170,000	
	④燃料費	116,512	90,491	91,971	100,000	
	⑤清掃費	0	0	0	0	
⑥保守点検費	0	0	0	0		
⑦その他(施設消耗品)	882,037	842,685	1,306,800	950,000		
計	2,955,795	7,814,992	7,045,611	5,957,802		
対前年度増減率		164.4	△ 9.8	△ 15.4		
(3)トータルコスト(施設管理費 合計) (A)+(B)		13,745,402	13,683,442	14,129,672	13,852,000	
(4)合計のうち運営コストの割合		78.5	42.9	50.1	57.0	
(5)施設の収入 ※1)下記3)に入力する		3,254,400	1,987,650	1,727,100		
(6)運営コストのうち利用料収入の割合		30.2	33.9	24.4		

Ⅲ 収支差額の状況 注【指定管理料施設は(1)欄に、利用料金制度又は両制度併用施設は(2)欄に記入。また、自主事業を実施している施設は(3)欄に記入】

(1)指定管理料のみで運営している施設

(単位:円)

区分	H29決算額	H30決算額	R01決算額	備考
a) 施設使用料収入	3,254,400	1,987,650	1,727,100	※施設使用料は、掛川市へ収入される
b) 指定管理料	13,660,000	13,600,000	13,725,925	
収支差額 a)－b)	△ 10,405,600	△ 11,612,350	△ 11,998,825	

(2)利用料金制度施設又は指定管理料・利用料金併用制度施設

(単位:円)

区分	H29決算額	H30決算額	R01決算額	備考
a) 施設利用料金収入				※施設利用料金は、指定管理者へ収入される
b) 収支差額(a－トータルコスト)				
c) bに対する市の支出額(指定管理料)				

(3)自主事業及びその他事業の状況

(単位:円)

区分	H29決算額	H30決算額	R01決算額	備考
a) 自主事業の収入		684,791	861,589	
b) 自主事業の支出		583,508	955,154	
収支差額 a)－b)	0	101,283	△ 93,565	
c) その他事業の収入				
d) その他事業の支出				
収支差額 c)－d)	0	0	0	

IV 担当課による評価

(1) 施設設置目的の達成度

点数	評価基準	評価	改善を要する点
3	設置目的を達成できている	3	
2	設置目的をほぼ達成できている。		
1	設置目的を一部達成できていない。		
0	設置目的を達成できていない。		

(2) 協定書に記載した業務要求水準の達成度 <達成 3点、8割達成 2点、6割達成 1点、6割以下の達成度 0点>

評価項目	要求水準	実績	評価	改善を要する点
A 施設全体の満足度	80	95	3	
B サービス内容の満足度	80	93	3	
C 従業員対応の満足度	80	97	3	
D 施設安全対策の満足度	80	97	3	
E 美観・清潔感の満足度	80	99	3	
F 施設の利用者数	18000	30492	3	

※協定書の業務要求水準及び実績を記載し、評価については要求水準に達していれば3、8割達成は2、6割達成は1、6割以下は0としてください。

(3) 収支の改善状況 ※収支差額が赤字は0点、収支差額が黒字は1点から3点としてください。

点数	評価基準	評価	改善を要する点
3	前年度より収支状況が向上している。	0	【達成できていない点・主な課題】 作業効率化や安全確保のため、高木化した果樹の強剪定や夏場の防除作業の削減により果実売払収入が減少した。 【いつまでに、どのように対応するか】 収穫をしやすい樹形づくりのための剪定や農薬散布機の導入を行い作業効率の改善を実施。今後の果実売払収入増を見込んでいる。
2	前年度と同等の収支状況になっている。		
1	前年度より収支状況が縮小している。		
0	収支差額が赤字となっている。		

(4) 安全対策・危機管理体制など

点数	評価基準	評価	改善を要する点
3	利用者の安全対策や危機管理体制は万全である。	2	【達成できていない点・主な課題】 指定管理者の努力で修繕、注意喚起は行っているものの、園路際に急な法面や崖が存在するため、日常管理だけでは限界がある。 【いつまでに、どのように対応するか】 崩土箇所があれば至急対応する。
2	万全とは言えないが、事故等が発生する確率は低い。		
1	安全対策・危機管理体制は整っているが、昨年度事故等が発生している。		
0	利用者の安全対策や危機管理体制に不備があり、改善が必要である。		

(5) 本施設(事業)の継続性と行政の関与について

点数	評価基準	評価	改善を要する点
3	民間が実施できる事業であり、行政が実施しなくてよい。 (施設の貸付、売却、譲渡、独立採算制などを検討)	2	【達成できていない点・主な課題】 果実の出来は気候に左右されるため、安定的な収入の確保が難しい。 【いつまでに、どのように対応するか】 直営で果樹を管理するよりも民間のノウハウを取り入れた管理をすることで、品質や収量の確保が出来ると思う。
2	民間が実施できるが、行政の関与が必要である。 (直営化、一定額指定管理料制度など)		
1	現在の指定管理で良いが、大幅な経営改善が必要である。 (独立採算制、一定額指定管理料制度への移行など)		
0	民間では実施できない、担い手がいないため、行政がやるべきである。 (直営化など)		

(6) 総合評価

点数	評価基準	評価	改善を要する点
3	本施設の指定管理者として、特に優れている。最適である。	3	
2	本施設の指定管理者として、問題はなく適当である。		
1	本施設の指定管理者として、やや劣っている。改善を要する。		
0	本施設の指定管理者として、著しく劣る。適当でない。		

合計

28

／ 33

V その他自由意見

--